

新 WAGRI お試しサービス利用手順書

WAGRI 運営事務局

1.0 版(2025 年 4 月 23 日)



目次

改訂履歴	2
1. この手順書について	3
1.1. 本書の対象者	3
1.2. 各章の概要	3
1.3. 著作権等	3
2. WAGRI システム概要	4
3. アクセストークンを発行する	5
3.1.1. Postman を利用する場合	5
3.1.2. Windows PowerShell を利用する場合	8
4. ベーシック API を利用する	9
4.1. API にリクエストを送信し レスポンスを確認する	9
4.1.1. Postman を利用する場合	9
4.1.2. Windows PowerShell を利用する場合	11
5. リクエスト時の HTTP ステータスコード	12
5.1. アクセストークン取得時の HTTP ステータスコード	12
5.2. API アクセス時の HTTP ステータスコード	12
6. お問い合わせ先	13
7. 付録	14
7.1. お試しサービスで利用可能なベーシック API	14



改訂履歴

版数	改版日	内容
1.0	2025年4月23日	初版



1. この手順書について

1.1. 本書の対象者

新 WAGRI に搭載されている API を **お試し利用する** ベンダー様が対象となります。

1.2. 各章の概要

タイトル	章の概要
2. WAGRI システム概要	WAGRI とは、どのようなシステムなのか、何ができるのかを説明しています。
3. アクセストークンを発行する	API のアクセスに必要な認証キーであるアクセストークンの発行方法を説明します。
4. ベーシック API を利用する	ベーシック API は、WAGRI 会員であれば利用可能な API です。このベーシック API の利用例を説明します。
5. リクエスト時の HTTP ステータスコード	アクセストークン発行時の HTTP ステータスコードを紹介しします。
6. お問い合わせ先	WAGRI 運営事務局へのお問い合わせ先を記載します。
7. 付録	お試しサービスで利用できる ベーシック API を紹介しします。

1.3. 著作権等

- 本書は、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構の許可なく複製、改変を行うことはできません。
- 本書で記載されている会社名または製品名は、それぞれ各社または各組織の商標または登録商標です。当文書内での TM および(R)表記は省略させていただいております。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に掲載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。



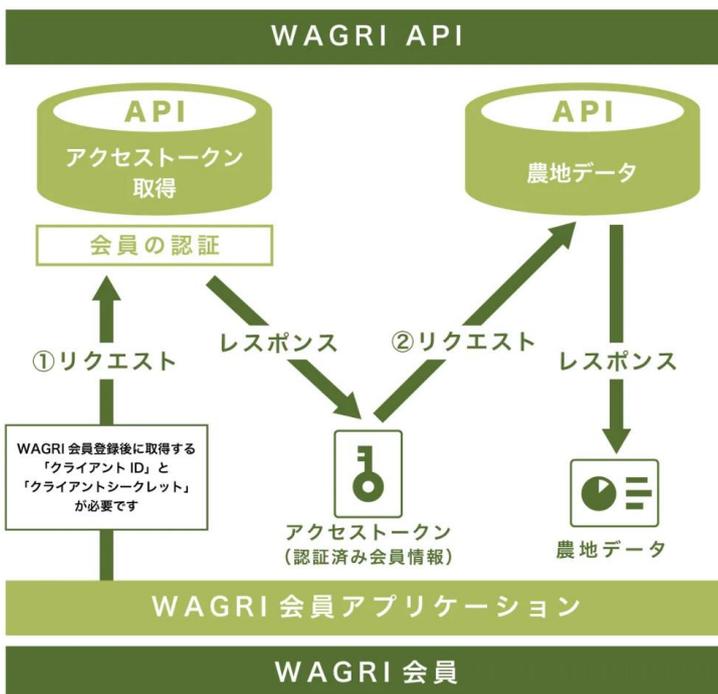
2. WAGRI システム概要

WAGRI は、農業に役立つデータやプログラムを統合・共有するためのクラウドプラットフォームです。データやプログラムは WAGRI が提供する API を通じて、必要なものを必要なタイミングで、安全に利用することが可能です。

API を利用することで、Web アプリ、モバイルアプリ、IoT デバイスなど異なるプラットフォームでの開発を効率化することができます。

WAGRI が提供する気象・土壌・生育情報などの様々なコンテンツを活用して、農業の効率化やスマート農業を推進することができます。

API 利用の概念図



アクセストークンの有効時間は1時間です。

3. アクセストークンを発行する

アクセストークンの取得は、開発するアプリの仕様に合わせて実施いただきますが、ここでは、「Postman」と「Windows PowerShell」を使用したアクセステストを紹介します。
 なお、「Postman」のインストールや使用方法については、インターネット上の情報をご参照ください。

3.1.1. Postman を利用する場合

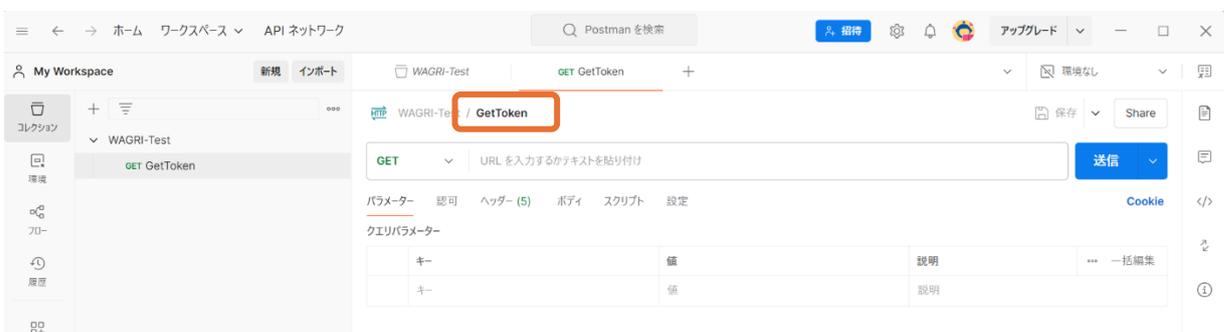
- ① Postman を起動し、新しいコレクションを+で作成します。ここでは、コレクション名を「WAGRI-Test」としています。



- ② リクエストを追加します。



- ③ リクエスト名をここでは「GetToken」とします。





④ メソッドを「POST」

URL を「https://api.wagri2.net/Token」とします。

ボディ x-www-form-urlencoded の値として以下を設定します。

キー	値
grant_type	client_credentials
client_id	クライアント ID : WAGRI 運営事務局から別途送付します
client_secret	クライアントシークレット : WAGRI 運営事務局から別途送付します

The screenshot shows a REST client interface for a request named 'WAGRI-Test / GetToken'. The method is set to 'POST' and the URL is 'https://api.wagri2.net/Token'. The 'Body' tab is selected, and the format is 'x-www-form-urlencoded'. The body content is a table with three rows, each with a checked checkbox, a key, and a value:

キー	値	説明
<input checked="" type="checkbox"/> grant_type	client_credentials	
<input checked="" type="checkbox"/> client_id	998fab46b0d5*****	
<input checked="" type="checkbox"/> client_secret	9ae93ec6-b7af-*****	

4. ベーシック API を利用する

API の利用は、開発するアプリの仕様に合わせて実施いただきますが、ここでは「Postman」と「Windows PowerShell」を使用して、ベーシック API の一つである「気象情報取得 API」のデータ取得テストを紹介します。

[気象情報取得 API の仕様紹介ページ](#)

4.1.API にリクエストを送信し レスポンスを確認する

4.1.1.Postman を利用する場合

- ① Postman の該当のコレクションで  をクリックし新しくリクエストを追加します。



- ② リクエスト名をここでは「気象情報取得 API」とします。





③ メソッドを「GET」

URL を「https://api.wagri2.net/basic/weather/jma/Forecast」とします。

ヘッダーの値として以下を設定します。

キー	値
X-Authorization	発行したアクセストークンを設定します

WAGRI-Test / 気象情報取得API 保存 Share

GET 送信

パラメーター 認可 **ヘッダー (6)** ボディ スクリプト 設定 Cookie

ヘッダー 5 個が非表示

キー	値	説明	一括編集	プリセット
<input checked="" type="checkbox"/> X-Authorization	eyJ4NXQjUzI1NiI6Im9ELVVzTjFsOU5TSm...			
キー	値	説明		

④ 「送信」をクリックするとリクエストを送信します。

正常であれば、ステータスコード 200 (正常レスポンス) となりレスポンスが表示されます。

WAGRI-Test / 気象情報取得API 保存 Share

GET 送信

パラメーター 認可 **ヘッダー (6)** ボディ スクリプト 設定 Cookie

ヘッダー 5 個が非表示

キー	値	説明	一括編集	プリセット
<input checked="" type="checkbox"/> X-Authorization	eyJ4NXQjUzI1NiI6Im9ELVVzTjFsOU5TSm...			
キー	値	説明		

ボディ Cookie **ヘッダー (6)** **テスト結果** リロード

200 OK • 3.05 s • 162.35 KB • レスポンスを保存

{ } JSON プレビュー Visualize

```

1 [
2   {
3     "AreaName": "宗谷地方",
4     "DailyWeather": [
5       {
6         "DetailWeather": [
7           {
8             "TargetTime": "2025-02-21T08:00:00",
9             "WaveInfo": "3メートル",
10            "WeatherInfo": "くもり時々雪",
11            "WindInfo": "北の風 やや強く"
12          },
13        ]
14      }
15    ]
16  }
17 ]

```




5. リクエスト時の HTTP ステータスコード

5.1. アクセストークン取得時の HTTP ステータスコード

No.	コード	説明	対処
1.	200	リクエストが正常に処理できています。	対処は不要です。
2.	400	エラーです。 リクエストが不正と判断されています。	リクエストボディのキー名称などに誤りがないか確認して下さい。
3.	401	エラーです。 認証情報に誤りがあります。	client_id や client_secret の値に誤りがないか確認してください。
4.	404	エラーです。 ドメインは存在していますが、リソースが存在しない場合のエラーです	URL に誤りがないか確認して下さい。
5.	415	エラーです。 サーバで許可していないリクエストの種類となっています。	Postman であれば、BODY の形式として「x-www-form-urlencoded」が指定されているか確認してください。

5.2. API アクセス時の HTTP ステータスコード

API アクセス時の HTTP ステータスコードは、各 API の仕様によります。

それぞれの API 利用マニュアルをご参照ください。



6. お問い合わせ先

本書内容の不明点や疑問点、ならびに WAGRI をご利用の際にお困りの事案が発生しましたら、WAGRI 事務局（wagri@naro.affrc.go.jp）までお知らせください。



7. 付録

7.1.お試しサービスで利用可能なベーシック API

お試しサービスで利用できる「ベーシック API」の一覧です。

エンドポイントをクリックすると、API の仕様ページへリンクします。

API の仕様を確認の上、ご利用ください。

2025 年 4 月 1 日現在

ベーシック API 名	エンドポイント	概要
気象情報取得 API	Forecast	気象庁提供の、府県天気予報を提供
農地ピン API	SearchByCityCode SearchByDistance SearchByLongitudeLatitude	全国農業会議所の農地ナビと連携した農地ピン情報データを提供
農地ピンデータ情報取得 API	GetList Get	農地ピンデータ情報を取得
ID 付与済み筆ポリゴン取得 API v3	Get GetDistance GetArea GetByLocalGovernmentCd	農林水産令和 4 年度省提供の、農地区画の形状を緯度経度で表したデータ(ID 付与済み筆ポリゴン)を提供
AI 土壌図情報付与済み筆ポリゴン取得 API v2	Get GetDistance GetArea GetByLocalGovernmentCd	人工知能を用いて現行の 5 万分の 1、20 万分の 1 土壌図を高精度化して圃場ごとに土壌種を判定できる土壌図 (AI 土壌図) 情報を付加し、農地区画の形状を緯度経度で表したデータ (ID 付与済み筆ポリゴン) を提供
市区町村マスタ取得 API	GetList Get	全ての市区町村マスタを取得する
農薬情報取得 API	GetList GetByAgriculturalChemicalRegisterNo Get	農林水産消費安全技術センター提供の、農薬マスタ情報を提供
土壌図取得 API (20 万分の 1)	Get GetArea GetDistance	指定した最大・最少緯度・経度の範囲に存在する縮尺 20 万分の 1 土壌図を提供
土壌図取得 API (5 万分の 1)	Get GetArea GetDistance	指定した最大・最少緯度・経度の範囲に存在する縮尺 5 万分の 1 農耕地包括土壌図を提供
イネ特性情報取得 API	Characteristic/GetList Characteristic/Get CharacteristicInfo/GetInfo Variety/Get/ ineCode/Get	イネ特性情報を提供



ベーシック API 名	エンドポイント	概要
市区町村マスタ取得 API	GetList Get	全ての市区町村マスタを取得する
農作物語彙情報取得 API	CVO/GetList	1,514 語の農作物語彙情報を提供
農作業語彙情報取得 API	AAO/GetList	482 語の農作業語彙情報